

女性活躍推進人材育成事業【諫早市】

地域の実情と課題

- ・本市は、男性従業員の占める割合が高いとされる製造業、建設業に従事する従業員の割合が高く、労働力を確保していくためにも女性の活躍は喫緊の課題となっている。
- ・県内企業の、男性の育児休業取得率は、全国平均より低く、本市でも同様の傾向がうかがえ、家庭での役割分担などの協力体制の構築や、育児休暇の取得促進や労働時間の短縮など、働く環境の整備やワークライフバランス推進の施策が求められている。

事業の特徴

- ・市民一人ひとりがワークライフバランスを理解し、自らのこととして考えるきっかけの場として、支所地域の市民向けセミナーを開催し、参加者の女性活躍推進に対する理解の深まりを目指し企画した。
- ・今後のキャリアプランを考え分析するプログラムにより、ライフスタイルの変化に応じた自分らしいキャリアを築けるよう支援を行った。
- ・働いている女性とそのパートナーがコミュニケーション力を高めることにより、男性や家族の家事・子育て・介護等への円滑な参画につながり、女性の継続就労の支援を図った。

事業の効果

- ・人口が少ない支所地域であるが、参加率は高く、参加者の6割が女性活躍推進について内容や言葉を知っており、本セミナーの実施で更に女性活躍の必要性について理解を深めることができた。
- ・分析ツールを使用したワークを通して、無理なく仕事を再開し、安心して働きながら、自分らしいキャリアを築くための支援ができた。
- ・家事、子育て等への参加を促す方法として、上手なコミュニケーションの方法を学び、受講者全員から今後に活かしたいという感想を得ており、目標は達成できた。

目的・目標

【目的】

- ・市民一人ひとりがワークライフバランスを理解し、行動にするよう啓発を強化することにより女性の社会進出を促し、本市の女性の活躍を推進する。また、働く意志のある女性がその能力を発揮し、希望に応じた働き方ができるよう再就職を支援し、コミュニケーション力を高めることにより本市の女性の継続就労を促進する。

【目標】・市民向けセミナー参加者 100人

・女性の再就職支援セミナー参加者 15人

・パートナーとのコミュニケーション講座 10人

連携団体

PTA連合会、自治会連合会、商工会議所、保育会、諫早市男女共同参画推進団体、地域子育て支援センター、母子寡婦福祉会、長崎ウエスレヤン大学、ハローワーク等

今後の課題

- ・女性活躍には、男性の意識改革や固定的な社会通念や習慣の改善等が必要。今後も開催実績がない支所地域の意識改革に取り組み、女性の社会進出や登用など、活躍推進につなげていく必要がある。
- ・ブランクを経て社会に出るハードルは高く、自分らしいキャリアを築くための支援は今後も必要であり、受講者の増加を図りたい。
- ・夫婦や家族間でコミュニケーション能力を高めることは、男性が家事・育児等へ参画するきっかけになる。今後も男性が、知識や技術不足により「できない」という抵抗感をなくすため、意欲の向上を図る必要がある。

事業の概要

(1) 女性活躍推進セミナー

◇女性活躍を推進する上では、市民一人ひとりがワークライフバランスを理解することが必要である。自らのこととして考えるきっかけの場として、開催実績がない支所地域の市民を対象にセミナーを開催

- ・対 象：一般市民
- ・開催日：令和2年1月25日
- ・講 師：春風亭 鹿の子氏
- ・参加者：90人



(3) パートナーとのコミュニケーション講座

◇働く女性とそのパートナーが、伝える力を学び、コミュニケーション力を高めることにより、男性や家族の家事・子育て・介護等への円滑な参画につながり、職業生活における女性の継続就労を支援する講座を開催

- ・開催日：令和元年7月28日
- ・講 師：エヌケースリードリームプロ代表 渡邊 享介氏
- ・参加者：10人



(2) 女性の再就職支援セミナー

◇結婚・育児・介護などの事情により離職した女性に必要な知識・技能の習得や情報を提供するセミナーを開催

今後のキャリアプランを考え、分析ツールを使用しスムーズに仕事を再開し安心して働きながら自分らしいキャリアを築けるよう支援

- ・開催日：令和元年10月17日
～11月14日(全5講座)
- ・講 師：永田 あかね氏
清水 文隆氏(パソコン講座)

- ・内 容：『わたしに合った働き方』
『社会とつながろう』
『パソコン講座(5回)』
『応募書類、どう書けばいい?』
『面接あれこれ』

